



木場小だより

教育目標：豊かな心と確かな学力を備えた、
心身ともにたくましい児童の育成
<http://www.hakusan.ed.jp/~kiba-e/>



令和6年12月5日
小松市立木場小学校
校長 小山貴子

TEL：0761-44-2803
FAX：0761-44-5974
kiba-e@kec.hakusan.ed.jp

人権集会

12月4日～10日は人権週間です。学校では4日に人権集会を行い、運営委員会の6名が中心となって会をすすめました。内容は以下の通りです。

- ①人権に関するクイズ
- ②小中学生サミット参加報告
- ③みつけた友達のいいところ紹介
- ④読み聞かせ



集会では、運営委員が考えた人権クイズから始まりました。クイズで何問正解するかを競っていた子ども達ですが、クイズを通して「人権を守るってどんなこと？」と一人一人が考える機会となりました。

小松市では例年小中学生サミットを開催しています。今年度は、11月23日にサイエンスヒルズに小松市の全小中学校の代表が集まり、「十人十色～相手と自分を知り認め合う～」をテーマに、各校で児童会・生徒会が中心となって取り組んでいることを紹介しました。本校からは6年生の原田口口さんと5年生

の宮本口口さんが参加し、本校の全校遊びや縦割り活動、あいさつ運動などの取組を紹介しました。他校の取組を聞き、本校でも取り入れたい活動がいくつもあったそうで、2人はサミットの様子を全校の前で生き生きと語ってくれました。

今年私が紹介した本は、「ひとりでぼっち」という絵本です。自分の気持ちを素直に言えない「はなちゃん」友達からドッジボールに誘われた時、本当は中に入りたかったのに断ってしまいました。自分は「ひとりでぼっち」だと思い、寂しくなることは何度かありましたが、どんどんかたくなになり、自分の意志でひとりでぼっちになる「ひとりでぼっち」の練習をし始めました。・・・人は一人では生きていけません。互いに関わり合いながら生きています。このお話を通して、周囲からの助けを素直な気持ちでありがたく受け取ったり、周囲で助けが必要な人を見かけたら進んで声をかけたりする子であってほしいと伝えました。

人権週間に合わせ、職員が子ども達に読み聞かせた本、私が集会で紹介した本は児童玄関に展示してありますので、来校された際に手に取ってご覧ください。



落ち葉掃き

ずっと気温の高い状態が続き、なかなか木々が紅葉しなかったのですが、11月も半ばを過ぎると、いよいよ学校の坂道



には茶色や赤色の落ち葉が降り積もり、絨毯のようになりました。冷たい雨がずっと側溝も落ち葉でいっぱいになり、水があふれます。



そこで、11月21日、5、6年生が「緑の少年団活動」として落ち葉掃きをしました。あまりの量に驚いていた子ども達ですが、ものすごい勢いでかき集め、昼休みの時間だけですっかりきれいになりました。運動場も前庭も学校の坂道も葉っぱがなくなり、小春日和の中、達成感でいっ

ぱいになりました。とはいえ、もうしばらく落ち葉は降り続きます。

「むかしあそび」を教わる

4日、さわやかクラブのみなさんや木場台の藤田さんをお招きし、1年生が「むかしあそび」を教わりました。こままわし、



あやとり、お手玉、めんこなど、子ども達のリクエストに応えながらたくさん遊びを教えてくださいました。



こまの糸のかけ方、こまの持ち方、手からの放し方を教わりながらだんだん上手にこまを回せるようになり、子ども達は大喜びでした。また、あやとりひもでほうきを作ってみせてくれる子もいて、とても楽しい時間を過ごすことができました。来

ていただいた町の先生方に教室を案内したり、活動のふり返りを自分の言葉で話したりする1年生の姿に、4月からの成長を感じます。

除雪機が貸与されました

育友会長さんのご尽力で、今年度小松市より子ども達の通学路用除雪機の貸与を受けることになりました。11月末に真新しい除雪機が届き、早速教頭、育友会有志による試運転（雪はありませんが）をしました。たくさんの雪は歓迎したくありませんが、今年は心強いです。年度末まで学校で保管します。



「未来への on-air ～10歳の僕・私～」

（テレビ小松「こまつチャンネル」）

毎年4年生の子ども達が、10歳の今、抱いている将来の夢を語ります。今年度も29日に、テレビ小松のカメラマンを前に緊張しながらの集録を終えました。今年度は12月25日（水）～31日（火）に放送される予定です。毎日9：00と19：00、土日は加えて12：00にも放送されますので、ご覧ください。

明日は個人懇談です。短い時間ではありますが、日ごろのお子さんの様子を伝え合い、よりよい成長につなげられることを願っています。